

【第6学年国語】

目的に合う必要な情報を選択し、「資料→理由→考え」を明確につなげて、説得力のある意見文を書く

1 指導計画

- 1 時間目 目的に合う資料を選択し、必要な事柄を解釈し、それらを自分の考えに関係付ける。
- 2 時間目 説得力のある文章の構成を理解し、三部構成・四段落の構成メモを作る。
- 3 時間目 資料から分かったこととそれを基に考えたことをつなげ、説得力のある意見文を書く。

2 指導のポイント

この問題の学習課題は、「共助の大切さ」を地域の人に伝えるため、パンフレットに載せる意見文を書くことである。

本単元は、非連続型テキスト、防災センターの人のお話、話し合いの様子、アンケート結果等の複数の資料から必要な情報（「共助」に関する資料）を選択し、資料から分かる事実に自分の考えを明確につなげて、説得力のある意見文を書くことをねらっている。そこで、「目的や意図に応じて情報を収集・解釈し、選択する力」「論理的に思考する力」「説得力のある文章を書く力」を付けるために、3時間で段階的に指導していく。

- 1 時間目 複数の資料から「分かること（事実）」を読み取り、「公助」「自助」「共助」について、整理・分類する。グループで、「共助」が大事な理由を資料と関係付けて話し合い（資料の解釈）、自分の意見をまとめる。
- 2 時間目 例文を比較しながら、より説得力のある文章の構成を理解する。一つ目は、「分かること（事実）」のみの記述では、自分の意見が伝わらないこと。二つ目は、論理的な文章の構成。この二つの理解から、三部構成・四段落の構成メモを作る。
- 3 時間目 例文に書かれた「事実」「理由」「資料から考えられること」を確認する。そして、構成メモを基に、条件に沿って意見文を書く。書き終わった後、グループで「条件に基づいて意見文が書かれているか」を視点に意見文を読み合い、感想を交流する。

3 各時間の指導計画

(1) 資料を「公助」「自助」「共助」に分類し、その中から、「共助」の大切さについて、大切である理由を資料と関係付けて、自分の意見をまとめる。

主な学習活動と教師の働きかけ	・留意点 □評価
<p>課題を把握する</p> <p>T 佐藤さんの学校では、「防災」について学習しています。防災では、国や市が助けてくれる「公助」、自分で災害に備える「自助」、近くの人たちと地域で協力して助け合う「共助」の3つがあります。そこでまず、防災センターの大野さんに話を聞きました。佐藤さんたちは、調べて分かったことを意見文にまとめてパンフレットにし、地域の方に伝えます。</p> <p>T 「公助」「自助」「共助」とは、具体的にどんなことなのでしょう。資料を基に分かったことをまとめましょう。</p> <p>資料ア（大野さんのお話）から必要な情報を抜き出す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「公助」「自助」「共助」の意味を確認する。 ・「パンフレットに意見を書き、地域の方へ伝える」という単元の課題を確認する。 ・「公助」「自助」「共助」について、分類し、その中の「共助」の資料を選び、分かったこと（事実）を

- T 次の三つの例は、「公助」「自助」「共助」のどれに当たりますか。
- ・市町村で防災マップを作成，配布する。「公助」
 - ・災害があった時に助け合う消防団を作っておく。「共助」
 - ・日頃から防災グッズを家に置いておく。「自助」
- T 佐藤さんたちは，防災について，もっと詳しく知りたいと思い，さらに調査をしました。

「共助」についての資料を整理・分類する

- T 「共助」について，それぞれの資料から分かることは何かな。分かることをまとめよう。
- グラフを読み取る時には，数値や変化に着目しよう。
- ・近所の人に助けられた割合が55%で一番多い。(資料エ)
 - ・防災活動に取り組む地域の割合が年々増えている。(資料キ)
 - ・国民が重点を置くべきと考えている防災政策は，共助に重点を置くべきと考える人の割合が14%から20%に増えている。(資料ク)
 - ・近所の人や消防団のおかげで，助かった。(資料カ)
- T 資料から，「共助」が大事であることが分かりました。なぜ，「共助」が大切なのか，理由を考えていくことが必要です。

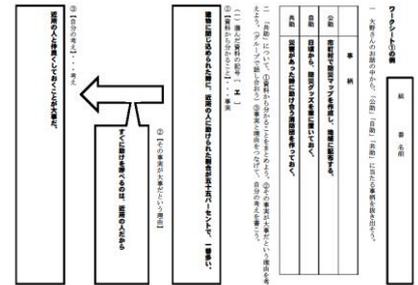
大事である理由を資料と関係付け，自分の意見をまとめる

- T では，資料から分かったことを基に「共助」が大事な理由を資料と結び付けて，グループごとに考え，ワークシートにまとめましょう。
- ・資料エから，近所の人に助けられた割合が55%で一番多い。
→すぐに助けを呼べるのは近所の人だから，共助が大切だ。
 - ・資料カから，「支援物資が来ている場所を近所の人教えてくれた。」「倒れたものを近所の人と協力して直すことができた。」「消防団が，避難場所を連絡したり，一人で逃げられない人を助けたりしていた。」という声があった。
→いざというときには近所の人助けが役に立つから，共助が大切だと言える。
 - ・資料キから，「防災活動に取り組む地域の集まり」が年々増えていることが分かる。
→地域の結びつきがいざというときの備えになるから，共助は大切だと言える。
- T 資料から，「共助」の大切さがよく分かりました。次の時間は，どのように内容を組み立てたら，地域の人に伝わる意見文になるかを考えます。

基に理由を考えるという本時の課題を把握する。

□大野さんの話の中の事例について，「公助」「自助」「共助」に分類している。

- ・資料から分かることをワークシートに整理・分類できるようにする。



*ワークシートファイル参照

- ・グループで資料から読み取ったことを基に吟味することで，様々な解釈を交流できる。解釈したことと自分の考えをつなげて，意見をまとめる。

□資料から読み取ったことを解釈し，理由を明確にして自分の考えをまとめている。

(2) 二つの例文を比較しながら，より説得力のある文章にするための構成を考え，三部構成・四段落の構成メモを作る。

主な学習活動と教師の働きかけ	・留意点 □評価
課題を把握する	・単元の課題を確認する。
T 前時では，資料から分かったことを基に理由を明確にして自分の	・意見文を書く目的は，「地域の方

考えたことをまとめました。それを基に地域の方に伝える意見文を書きます。

相手に伝えるための説得力のある意見文について考える

T 自分の意見を伝えるには、説得力のある意見文にする必要があります。

ここに、資料力を基にしたAとBの意見文があります。どちらがより説得力があるでしょうか。

《事実につなげた考えの記述なしA 考えの記述ありB》

B
資料力では、「支援物資が来ている場所を近所の人が教えてくれた」とあります。細かい情報は、地域の人しか分かりません。それを教え合うことで多くの人が助かります。だから、日頃から地域の人と仲良くなっておくことが大事だと思います。

A
資料力では、「支援物資が来ている場所を近所の人が教えてくれた」とあります。細かい情報は、地域の人しか分かりません。地域のひと細かい情報を教え合うことで、多くの人が助かったということが、アンケート結果から分かります。

- ・Aは、資料から分かることしか書いていない。
- ・Bは、資料から分かることにつなげて、地域の人と教え合うことで多くの人が助かるので、「日頃から地域の人と仲良くなっておくことが大切だと思う。」という自分の考えを書いている。

T 次に、資料力を基にしたAとBの意見文があります。どちらがより説得力があるでしょうか。

《Bは、事実→考えの順。 Aは事実→理由→考えの順》

B
資料オによると、「おむつやミルクが足りなくて赤ちゃんがかわいそうだった。」とあります。だから、おむつやミルクはいつも余計に準備しておくといいと思います。

A
資料オによると、「おむつやミルクが足りなくて赤ちゃんがかわいそうだった。」とあります。赤ちゃんは、ミルクしか飲めません。だから、おむつやミルクはいつも余計に準備しておくといいと思います。

- ・Bは、事実から考えたことだけの記述で理由が明確でない。
- ・Aは、資料から分かる事実を基に理由を明確にしてから自分の考えを記述しているので、より説得力がある。

T 説得力がある文にするためには、資料から分かったことにつなげて理由を明確にして、自分の考えを述べるという順序で書くことが分かりました。

構成メモを作成する

T 資料から分かること（数値や引用）につなげて、理由を明確にし、自分の考えを構成メモに書きましょう。

- ・三部構成・四段落の枠に沿って、構成メモを作る。

に共助の大切さを伝えるパンフレットを作ること」であることを確認する。

- ・「説得力」の意味を確認する。
- ・AとBを比較させながら、考えの記述に気付かせる。

- ・考えの記述の部分に線を引き、分かりやすくする。

- ・AとBを比較させながら考えさせ、論理的な記述に気付かせる。（事実と理由、考えを区別して書く。）

- ・資料から分かったことにつなげて理由を述べ、自分の考えを記述すると伝わりやすいことを押さえる。

- ・構成メモと原稿用紙が一枚になったワークシートに書かせる。

□例文を比較しながら、説得力のある文の構成を理解し、構成メモを作っている。

(3) 構成メモを基に意見文を書き、感想を交流する。

主な学習活動と教師の働きかけ	・留意点 □評価
<p>課題を把握する</p> <p>T 前時では、意見文を書くときに資料から分かること（事実）とつなげて理由を明確に自分の考えを述べると、より説得力のある意見文になることを学習しました。今日は、作った構成メモを基に、意見文を書きます。</p> <p>文の構成について確認する</p> <p>T ここに、Cさんの書いた意見文があります。前時で学習した構成（事実→理由→自分の考え）になっているでしょうか。確認しましょう。</p>	<p>・構成メモを見ながら、前時の学習を想起させる。</p> <p>・例を基に、説得力のある意見文について振り返らせる。</p> <p>・文章の構成について考えさせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>助」が最も大切だと考えます。</p> <p>きたりするので、「共</p> <p>らお互いに助け合えることがで</p> <p>り、地域の人とつながっていたか</p> <p>そ、すぐに助けることができた</p> <p>このように、近くにいるからこ</p> <p>つながっていることが大事です。</p> <p>助かります。だから、地域の人と</p> <p>報は、地域の人しか分かりませ</p> <p>ん。それを教え合えば、みんなが</p> <p>助かります。だから、地域の人と</p> <p>係をつくるのが大事です。</p> <p>うことができるからです。資料カ</p> <p>では、「物資があるところを教え</p> <p>てくれた」とあります。細かい情</p> <p>報は、地域の人しか分かりませ</p> <p>ん。それを教え合えば、みんなが</p> <p>助かります。だから、地域の人と</p> <p>つながっていることが大事です。</p> <p>このように、近くにいるからこ</p> <p>そ、すぐに助けることができた</p> <p>り、地域の人とつながっていたか</p> <p>らお互いに助け合えることがで</p> <p>きたりするので、「共</p> <p>助」が最も大切だと考えます。</p> </div>	<p>わたしは、防災では「共助」が特に大切だと考えます。それは、二つの理由からです。</p> <p>一つ目の理由は、近くにいるからすぐに助けられるということからです。資料Aでは、「地域の消防団が地震の時に体の不自由な人の誘導をしていました」とあります。体の不自由な人は、地震の時自力で逃げるのができなくて、困ると思います。だからこそ、近くににいる人同士で助け合える関係をつくるのが大事です。</p> <p>二つ目は、避難所などを教え合うことができるからです。資料Cでは、「物資があるところを教えてください」とあります。細かい情報は、地域の人しか分かりません。それを教え合えば、みんなが助かります。だから、地域の人とつながっていることが大事です。</p>
<p>T 「事実」「理由」とつなげた自分の考えが書かれた箇所を探しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「消防団が体の不自由な人を助けた」という事実から、近くにいる人同士で助け合える関係をつくるのが大事だと書いている。 ・「物資があるところを教えてください」という事実から、地域の人とつながっていることが大事だと書いている。 ・まとめでは、二つの事柄につなげて、自分の考えをまとめている。 	<p>・Cさんの意見文を例に挙げながら、条件を確認する。</p> <p>・例を用いて条件を確認することで、意見文の書き方を理解させる。</p>
<p>意見文を書く</p> <p>T 構成メモを基に意見文を書きましょう。その際に次の条件で書きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三百六十字以上、三百九十六字以内。 ・三部構成四段落で書くこと。 ・資料の記号を入れること。 ・資料から分かったこと（事実・理由）と考えをつなげて書くこと。 <p>T 意見文を書いたら、グループで読み合い条件に合っているか確認しましょう。感想を交流しましょう。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>構成メモ</p> <p>意見文を書く</p> <p>構成メモと原稿用紙が一枚になったシート</p> </div> <p>*ワークシートファイル参照</p> <p>・グループで読み合い、交流させる。</p> <p>□例文から、意見文の構成に気付き、構成メモを基に条件に合わせた意見文を書いている。</p>